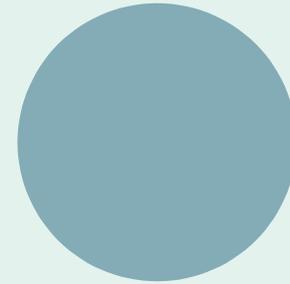
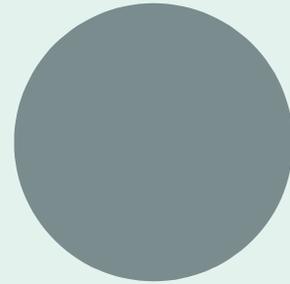
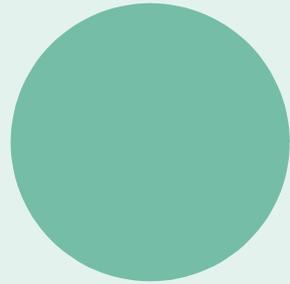
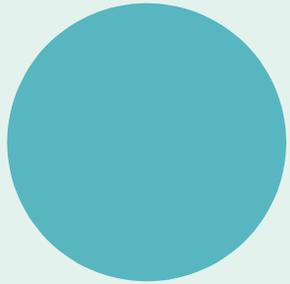


— 子どもの病気 —
— 保育園での対応 —



どこをみればよいの？ 見る「POINT」

日付

発表者氏名

目次



こどもの病気



第1印象と「Not doing well」に気付こう



事例を使って実際に考えてみましょう



感染症の種類
どんなのがある？



子どもの病気



こどもの病気について



こどもの病気ってよくわからないし，“怖いな”と思う
ことありませんか？

さっきまで元気
だったのに・・・
・
何で急に・・・
と思うことあり
ますよね？



急に発熱・・・す
ぐに病院いかな
きゃと
病院に行ってい
ませんか？



これ、すごく惜しいんです！！

なぜか？

対処方法が分かれば
大丈夫！



そんな不安があるのはいざというときの「対処方法」がわからないからです！

その1

その2

その3

私たち看護師が子どもを見るとき

保育園に子どもがお母さんと登園してきました



Question 1

あなたは最初にどこを見ますか？



1

お母さんの顔色？

2

こどもの顔色？

3

それとも・・・？

私たち看護師が子どもを看るとき

私たち看護師が外来で子どもを看るときはまずは、**全身をみて第一印象**で

子どもの様子を観察します。

見る項目は

- 顔色
- 口唇色
- 表情
- 活気の有無
- 啼泣の有無、
- (歩けるこどもなら) 歩いているかどうか
- 呼吸のしかた

(こどもは鼻腔内が狭く、また呼吸は鼻呼吸が主です。鼻がつまると苦しくなりやすい体の構造) などです。

私たち看護師が子どもを看るとき

なかでも**顔色を含む皮膚色**は一番観察しやすいです。

子どもの**皮膚色を実際に触って、手足の温度差**をみます。

子どもの手足を触りながら、**観察しながら家での様子やいつから続いているか**両親にヒアリングをします

私が看護師をしていて感じたこどもを看るうえで大事なこと、
「**Not doing well**」に気付くこと！



第1印象と「Not doing well」に気付こう



私たち看護師が子どもを看るとき

「Not doing well」 とは

「あれ、いつもと様子が違う？」ということです。

私たち看護師が子どもを看るとき

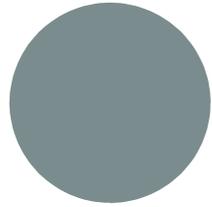
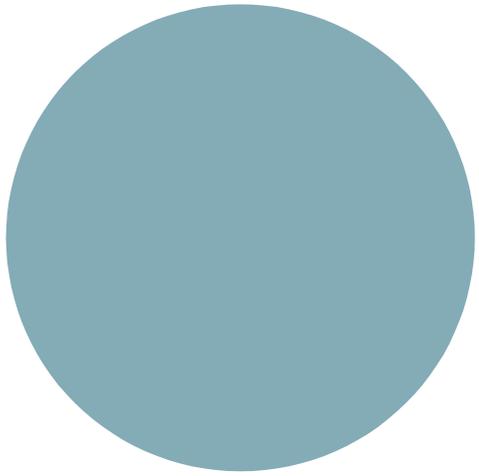
子どもが**いつもと違うかもしれない**という感覚は病気の早期発見に役立つからです。

POINT 1

POINT 2

テキスト入力

では、上記をふまえて「Not doing well」に気が付けるよう練習しましょう！



Question 1

事例を使って考えてみましょう

事例を使って考えてみましょう

例えば・・・その1



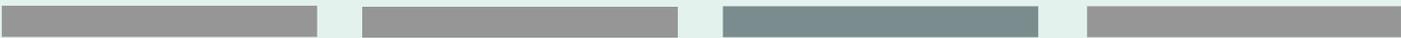
テキスト入力

Question 1



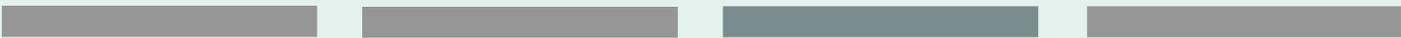
事例を使って実際に
考えてみましょう





事例を使って考えてみましょう

事例よりわかること



事例を使って考えてみましょう

発熱を起こす病気とは

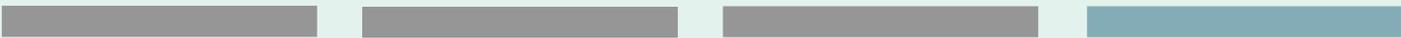


感染症の種類
どんなのがある？



感染症の種類（1）

感染症の種類（2）



感染症の種類

感染症にかかったらどうする？その対応策（1）



感染症の種類

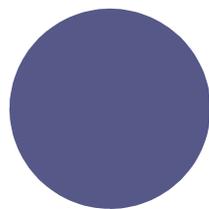
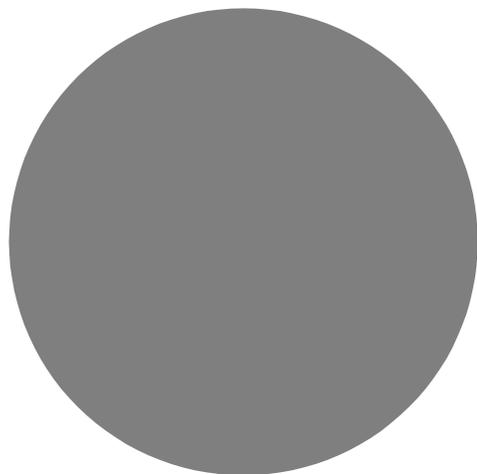
感染症にかかったらどうする？その対応策（2）



最後に

テキスト入力

最後に



ご清聴ありがとうございました

2019/09/01

〇〇〇協会所属

〇〇 〇〇〇

website: